

一つの式を、`expr-001.tex` に別に書込み、文中と、独立した行の二つの形式で取り込む事を考えます。

文中の場合は`\input{expr-001.tex}`と記述すると、 $(x + y)^2 = x^2 + 2xy + y^2$  となります。  
また、独立した文にした場合は、`\[\input{expr-001.tex}\]` とすると、

$$(x + y)^2 = x^2 + 2xy + y^2$$

となります。

更に、もし、式の番号が付けたいのであれば、`\[~\]` の代わりに、`\begin{equation}~\end{equation}` 囲めば、

$$(x + y)^2 = x^2 + 2xy + y^2 \tag{1}$$

となります。この場合、式に、`\label{式名}`を付けて、`\ref{式名}`で、式番号(式 1)を参照できます。

一つじゃ詰らないので、もう一つ(式 2)。

$$(x + y)^2 = x^2 + 2xy + y^2 \tag{2}$$

式番号は、どんどん、新しい番号がつけられます。

式の参照を行う場合は、タイプセットを二度する必要がある<sup>1</sup>事に注意しましょう。

---

<sup>1</sup>そうしないと、番号がズレたり(??)になったりする。